

平成 22年度 報告書

平成 21・22年度「大学教育・学生支援推進事業」研究指定
【テーマB】学生支援推進プログラム

テーマ

ニキャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築ニ

報 告 書

～地域に必要とされる大学教育・学生支援を目指して～



平成 23年3月
学校法人高田学苑 高田短期大学

目 次

1.	平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(学生支援推進プログラム)」	
	選定取組概要『キャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築』	1
2.	平成22年度大学教育改革プログラム	2
	1. 合同フォーラム発表資料	2
	2. キャリアカルテシステム利用	18
3.	平成22年度就職先及び学生の意識調査結果	20
	I-1. 【子ども学科：幼稚園・保育園向け】教諭・保育士の採用等に関する アンケート調査結果	20
	I-2. 【人間介護福祉学科：施設向け】介護福祉士の雇用・育成に関する アンケート調査結果	31
	I-3. 【オフィス情報学科】「採用動向および性別にみる業務職域の変化」 アンケート調査結果	36
	II-1. 【子ども学科・人間介護福祉学科：卒業生向け】キャリアに関する アンケート調査結果	48
	II-2. 【オフィス情報学科：卒業生向け】キャリアに関する アンケート調査結果	56
	III-1. 【全学科：就職先向け】本学卒業生に対する能力評価結果	68
	III-2. 【全学科：卒業生向け】自分自身の能力に対する評価結果	76
	III-3. 本学卒業生に対する能力評価結果と卒業生の自己評価の対比	82
4.	資料編	84
	1. 幼稚園・保育園に関するアンケート用紙	84
	2. 介護福祉施設に関するアンケート用紙	88
	3. 企業に関するアンケート用紙	92
	4. 卒業生に関するアンケート用紙	96

はじめに

高田短期大学は、平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業」【テーマ B】学生支援推進プログラムの研究を文部科学省より採択されました。本学では、本年度より学生の入学前から卒業後までを総合的に支援するエンロールメントマネジメントを重視する取組をしています。

本事業では、学科の専門分野を修め、短期大学士にふさわしい学士力ある学生を育てるほか、学生のニーズにマッチした職場選びと就職を実現する就職支援システムの開発と運用体制を構築していきます。また、学生の学びに対する達成感と学習意欲を高め、学習の参加度を強化するために、学習ポートフォリオ、GPA 制度を導入して学生の学習状況も把握できるようにしていきます。

本事業によりキャリア支援のログを学生一人ひとり一元管理ができる「キャリアカルテシステム」の開発を進めています。キャリアカルテには、各学生の学習状況や資格取得、インターンシップ歴、希望業種や職種、進路指導歴などの記録をデータ管理することで、アドバイザー教員及び学生支援センターが一貫した就職支援が実現できるようにしています。また、就職活動支援で得られた企業情報や試験情報などのデータは、学生らが供覧できるように進め、さらに、卒業時だけではなく卒業後も本システムを活用し、生涯を通じた満足度の高い就職支援ができるようにしていきます。

この事業を進めるに当たって、学生の就職活動を支援するために、企業、幼稚園、保育園、施設等の就職先および卒業生の意識調査を実施しました。平成 19 年度、20 年度における本学卒業生の就職率は 100%を誇っていますが、急激な経済状況の転換により就職活動の長期化、就職率の低下が懸念される環境下に学生はおかれることとなりました。

意識調査によって、就職先の声や、卒業生の忌憚ない意見を集約し、社会が大学教育に求めている教育について、就職先が学生に求めている資質・スキルについてなどを把握することを目的として実施しました。意識調査から得ることができたニーズに教育現場が応え「求められる人材」育成に着手することで、就職後のミスマッチを解消し早期離職の低減を図り、学生の長期キャリアの実現に繋がれば幸いです。

平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」

【テーマB】学生支援推進プログラム

取組期間	平成21年度～23年度
取組名称	キャリアカルテを用いた生涯就職支援システム
	の構築

取組の概要	<p>学科の専門分野を修め、短期大学士にふさわしい学士力ある学生を育てるほか、学生のニーズにマッチした職場選びと就職を実現する就職支援システムの開発と運用体制を構築する。学生の学びに対する達成感と学習意欲を高め、学習の参加度を強化するために、学習ポートフォリオ、GPA制度を導入して学生の学習状況を把握する。また、本事業によりキャリア支援のログを学生一人ひとり一元管理ができる「キャリアカルテシステム」を開発する。キャリアカルテには、各学生の学習状況や資格取得、インターンシップ歴、希望業種や職種、進路指導歴などの記録をデータ管理することで、アドバイザー教員及び学生支援センターが一貫した就職支援を実現する。また、就職活動で得られた企業情報や試験情報などのデータは、学生らが供覧できるシステムとする。さらに、卒業時だけではなく卒業後も本システムを活用し、生涯を通じた満足度の高い就職支援ができるようにする。</p>
-------	---

1 取組の趣旨・目的・達成目標

・取組の趣旨・目的

学生の学習状況や成果、進路指導歴など学生に関するキャリアのログを一元管理するシステムを開発し、運用体制を整備し、学士力の向上と総合的な就職支援を図る。このシステムで、アドバイザー教員や学生支援センター職員が一貫性のある指導が可能となり、組織的に教育力の向上にも寄与する。また、卒業後も活用できる仕組みとすることで、生涯を通じたキャリア支援を実現する。

・本年度の取組と目的

学士力の向上と総合的な就職支援を達成するために、キャリアカルテシステム及び関連する学習ポートフォリオや就職情報ポータルサイトの構築と、卒業生の就職満足度を卒業生や企業・幼稚園・保育園等施設に追跡調査を実施し、キャリアカルテシステムの設計・開発を進めるとともにGPA導入で学士力の測定や学習の軌跡を可視化できるよう進める。これらを進めながら、学生に対するアドバイザー教員や学生支援センター職員が一貫性のある指導体制を整えることである。

・達成目標

学士力向上に関しては、キャリアカルテシステムに掲載するGPA、資格取得状況などの学習成果を数値化した評価データが一定以上になることを達成目標とする。就職支援に関しては、就職率95%以上のほか、就職満足度調査による満足度、卒業後3年間の職場定着率が一定水準以上になることを達成目標とする。

2 取組の具体的内容・実施体制

・取組の具体的内容

「キャリアカルテシステム」を構築するために、GPA導入に向け委員会を設置するほか、学士力の測定や学習の軌跡を可視化する。学士力向上の成果がみられた学生を表彰する制度を設ける。システムを活用し就職率の向上・維持に努めるだけでなく、満足度が高い就職ができるよう支援する。そのため、卒業後3年間、満足度や就業状況などを把握するための追跡調査を実施する。

・取組の実施体制

本年度、エンロールメントマネジメントにより、入学、教学、就職という3部門を総括する教学部を設置した。教学部内組織の学生支援センター所属のキャリア支援室が就活支援を主に行う。キャリアカルテシステムを用いて、日々の相談者であるアドバイザー教員とも一貫した指導を行う。また、オフィス情報学科が以前に開発したプロトタイプも全学科に発展させる。

3 取組の評価体制・評価方法

・取組の評価体制

学内に設置されている自己点検・評価委員会が、学士力評価及び就職支援の評価を行う。その評価の基となるデータの整理は、教学部内の学生支援センター及び学務課が行う。学生支援センターは、卒業後3年間の職場定着率や短大満足度等の調査をする。これらの状況把握からの評価や研究成果報告会での評価を今後の学内活動等への改善に繋げる。

・達成目標に対する達成度についての指標

学士力向上の評価指標として、学生のGPA、資格取得状況が一定数以上となることを達成目標とする。就職支援の評価指標として、就職率、就職マッチング率等を評価指標とし、これらが一定水準になることを目標とする。両者ともに達成度として目標値に対する割合を求める。

4 取組の実実施計画等

・実施計画

初年度より実地調査を行うとともに、キャリアカルテシステム及び関連する学生ポートフォリオや就職情報ポータルサイトを構築するとともに、GPA制度を導入する。初年度2月開催の就職講座からこのシステムを活用し、平成22年度は試用システムの改善を進め、23年度にはシステムを完成させ本格運用を目指す。同時に卒業生の追跡調査、卒業生との懇談会を実施する。

・財政支援期間終了後の展開

財政支援期間終了後も引続きキャリアカルテを活用し学生支援を展開する。卒業生の追跡調査及び卒業生との懇談会等の費用と、キャリアカルテシステムのメンテナンス費用で展開できる。財政支援期間は、学習ポートフォリオや就職情報ポータルサイト等を含むキャリアシステムを構築し、試用しながらシステム改善を行い、最終年度平成23年度には本格運用とする。

キャリアカルテシステムの構想

